



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

9月11日、5名が登壇 市政を問う

一般質問

- ・猪等による獣害対策における獣友会の役割と市の支援について
- ・避難所となる体育館の空調整備について



植田浩之

一般質問

- ・御前崎市立図書館について



石川貴広

問 本市において、猪等による農作物被害や生活環境への悪影響が深刻化しており、住民の安全や営農活動に対する大きな脅威となっています。

答 獣友会会員の高齢化や後継者不足を踏まえ、若年層や新規参入者に対する支援策を伺います。

答 今後、獣友会会員の高齢化が進み、継続していくことが困難となる可能性もあります。国との交付金事業などを活用し、獣友会と地域の農業者が連携した総合的な対策を研究しております。

問 本市において、今後どのような対策をしていくのか、具体的策を伺います。

答 獣友会と地域の農業者による活動組織を設置し、ワナ設置個所などの範囲を拡大します。また、狩猟税の非課税や狩猟免許更新時の技能講習免除、公務災害の適用といったメリットもあります。これらの対策強化により、獣害を防止し、安定した農業生産の確保を図りたいと思います。

問 大規模災害時に、避難所となる市内体育館の暑さ対策は、喫緊の課題であると考えます。また、小中学生におきましても同様に、体育館を使用する中での熱中症が心配されます。本市において酷暑時の熱中症対策として、現時点でのどのような対応策が講じられていますか。また、国の防災減災対策の交付金や補助制度を活用した、空調整備計画の検討状況について伺います。

答 放射線防護施設に指定されている体育館については、スポーツクーラーの設置を行っています。学校での体育の授業や部活動を行う際の熱中症対策として、空調設備の必要性について、調査研究をしてまいります。

問 避難所となる体育館への空調整備について、本市独自の対応を伺います。

答 放射線防護施設の工アシエルターについては、現在設置しているスポーツクーラーより大型のものを設置予定です。

問 人事評価制度の費用対効果をどのように検証しているのか伺う。

答 費用対効果の検証は行っておりませんが、引き続きPDAサイクルを実行し、業務効率の改善や生産性の向上を促進するとともに、職員の能力開発と人材育成に努めてまいります。

問 現行の評価基準やプロセスは、市長が重視する「職員の挑戦意識の向上」につながる仕組みとなっているか伺う。

答 挑戦意識は、現行の評価要素に含まれております。また、能力・態度評価項目が11項目ございますが、全ての項目が重要であり評価ウエイトに差は設けておりません。日頃からあらゆる機会をおおして職員に挑戦意識についてしっかりと伝えております。

問 人事評価結果の極端な中央化の要因を伺う。

答 人事評価制度は適正に運用されていると認識しておりますが、評価結果の現状を分析します。

問 御前崎市立図書館に期待する役割を伺う。

答 市民の教養を養い、思考力や学力の向上に資するとともに、生涯学習施設として市民の課題解決に寄与してまいります。

問 電子図書館サービス導入の可能性を伺う。

答 ライセンス料などのランニングコストやコンテンツの充実度、端末利用が難しい方への対応など課題もあります。今後、利用実態に即した導入が可能か検討してまいります。

問 近隣市住民の利用も多い御前の場」としての機能を確実に維持・充実させた上で、必要に応じて時代の変化や市民ニーズに即した工夫を検討してまいります。